

プラハ国立劇場オペラ

モーツァルト自身が指揮した、チェコ随一の名門劇場
モーツァルトの美しさ、楽しさをここまで表現するオペラ座が
ほかにあるだろうか？



モーツァルト

「フィガロの結婚」

全4幕 日本語字幕付

2013年 1/5 土 PM 4:00

愛知県芸術劇場大ホール

S ¥ 18,000 A ¥ 16,000 B ¥ 13,000
C ¥ 11,000 D ¥ 8,000 E ¥ 6,000 学生 ¥ 3,000 (税込)

学生券 ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

■出演者、プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催 / 中京テレビ放送 企画・運営 / 中京テレビ事業

お問合せ お申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM9:30~PM5:30 / 土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索

座席表からお席をお選びいただけます！

5/26(土) 発売開始!
AM10:00~

チケット販売所
チケットぴあ (Pコード 164-528) 0570-02-9999
ローソンチケット (Lコード 48997) 0570-084-004
愛知芸術文化センターPG 052-972-0430
栄プレチケ92 052-953-0777
e+ (イープラス) eplus.jp
他 有名プレイガイド

30th
Nagoya
Classic Festival
2012



「伯爵様が踊りなさりたいければ」
「もう飛ぶまいぞこの蝶々」「恋とはどんなものかしら」など
誰もが知っているあの有名な序曲をはじめとする、
思わず口ずさみたくなる愛すべき名旋律の数々。

1786年5月にウィーンで初演された『フィガロの結婚』は、その年末にはプラハ・ノスティツ劇場（現スタヴォフスケー劇場）で上演され、空前の熱狂を巻き起こします。劇場支配人から「その熱狂振りを見に来るように」との書簡を受け取ったモーツァルトは、翌87年、何から何までフィガロー色だったプラハに乗り込みます。市民の興奮は、彼自ら『フィガロの結婚』を指揮したことで頂点に達しました。その滞在の折に劇場支配人は新しいオペラの作曲をモーツァルトに依頼し、その秋に完成したのが『ドン・ジョヴァンニ』。その初演は同年10月、モーツァルト自身の指揮でこの劇場で大成功を収めます。このように、モーツァルトが自ら2作品を指揮したスタヴォフスケー劇場のその後の歴史はモーツァルト上演史そのもの。古典的な舞台、前衛的な演出など、様々なプロダクションを産み出してきましたが、作品に対する愛着の深さは世界のどの一流劇場にも優ります。

『フィガロの結婚』では、簡潔なステージがかえってモーツァルトの音楽に集中させることになり、この作品がいかに魅力的だったかと再認識させてくれます。

今回は、「すばらしいアンサンブル。オーケストラも秀逸」と評判のオペラ座の4年ぶりの来日となります。とりわけ、モーツァルト作品では、アンサンブルが優れていることがモーツァルトの音楽に「命」を与え、この伝統ある「プラハ国立劇場オペラ」により奏でられてこそ、モーツァルトの音楽の素晴らしさがよみがえります。その意味でも、このプラハ国立劇場オペラのモーツァルト・オペラは絶品といえるでしょう。

待望の2013年「プラハ国立劇場オペラ」日本公演を是非お見逃しなく！



プラハ国立劇場（スタヴォフスケー劇場）

プラハ国立劇場は、オペラ、バレエ、演劇をプラハ市内の複数の会場で上演している劇場組織です。その中でもスタヴォフスケー劇場は、18世紀の美しい建築が今も保持・使用されており、もっとも長い歴史と伝統を誇ります。M.フォアマン監督の映画『アマデウス』で、オペラ・シーンのロケが行われたことでも知られます。現在モーツァルトのオペラはすべてこの劇場で上演され、「モーツァルト・オペラ」ゆかりの劇場として、市民からは「モーツァルト劇場」と称されて愛されています。